

## ヒメオドリコソウ (姫踊子草)

名前の意味：小さな踊り子草の意味。姫は似ていて小さいものにつける名前。オドリコソウは、在来の植物で、花がまるで花笠をつけて踊りを踊っているように見えることから名付けられた。

分類：双子葉類、シソ科、オドリコソウ属

(シソ科の栽培植物：ハッカ、ラベンダー)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：ヨーロッパ

特徴：対生するしわしわのスペード形の葉、ピンク色の小さな花

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2裂、合弁 (花びらがつながったまま落ちる)

花の時期：3—5月

見分け方：ホトケノザとは、葉がスペード形であること、花のピンクが薄いこと、花が葉の間にかくれ、あまり飛び出さないことで 区別できる。

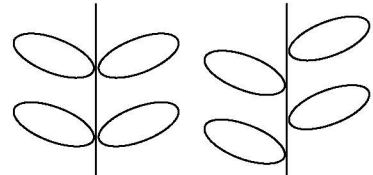
見つけやすさ ★

見分けやすさ ★

総合難易度 ★

(★が多いほど量が少なく、

見分けにくく、難易度が高い)

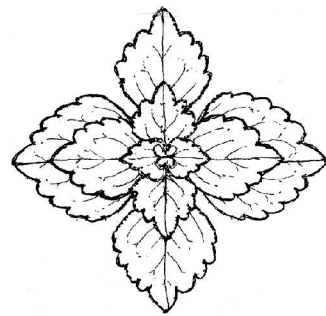


たいせい  
対生

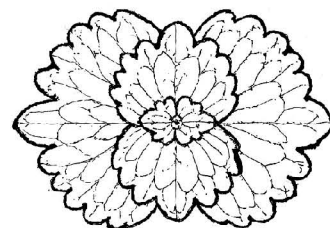
ごせい  
互生



スペード



ヒメオドリコソウ



ホトケノザ